

## 一般財団法人 有本積善社 第 52 回番組審議会議事概要

- 1 開催年月日：令和 5 年 1 月 19 日（木）16：00～17：00
- 2 開催場所：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2 階 市民活動団体活動室
- 3 委員の出席：  
委員総数：7 名 出席委員数：4 名  
出席委員の氏名：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、山下美晴、  
欠席委員の氏名：尾関善之、松井恭子、楠崇智  
放送事業者側出席者名：ジェネラルマネージャー 時岡浩二  
技術チーフ 上田秀篤  
制作チーフ 奥野あかり

### 4 議題

#### (1) 報告事項

- ① 昨年 11/25（金）に JCBA 放送賞特別番組部門で最優秀賞を受賞した『ダイアログインザダーク』を 12/7（水）～1/11（水）に 8 回再放送した。
- ② 昨年 11/29（火）に放送を終了した若浦中学校「フクのちからプロジェクト」は最終的に 8452 枚の服を集め、ユニクロから海外難民に送ることになったとの報告があった。
- ③ 12/9（金）、イブニングまいづる 530 内で歌手：多岐川舞子（南丹市出身）の電話インタビューを放送（事前収録）した。
- ④ 和田中学校 3 年生チーム MGC 出演（FM まいづる制作協力）の「五老ヶ岳スイーツ物語（10 分）」を 12/5（月）～11（日）に 7 回放送した → 本日の審議番組
- ⑤ 12/18（日）12:00～15:00 に、らぼーる「こどもスタジオ」横のセントラルコートでミニ四駆レース・サーキット走行体験会を開催した（舞鶴電脳工作室/舞鶴高専生協力）。その模様は現在、日曜日 10:30～50 の「らぼーる こどもスタジオプロジェクト」で放送中。
- ⑥ 12/29（木）～1/3（火）は年末年始編成とし、特別番組（収録）を放送した。
- ⑦ ラジオ年賀状の申込みが 24 社からあり、1/1（日）～1/7（土）に延べ 96 回/192 分放送した。これによる売上げは 25 万円。
- ⑧ 1/8（日）に赤れんがパークで行われた「舞鶴市二十歳のつどい」の公開生放送（13:30～15:30）と YouTube/Zoom（13:00～16:00）配信をおこなった。
- ⑨ 11/16（水）に開始した新パーソナリティ候補 4 名に対する研修は、2 名について 1/14（土）に修了し、他の 2 名については引き続き未修分の研修をおこなう予定。番組デビューは 2 月以降の見込み。
- ⑩ 1/15（日）14:00～14:30 に、らぼーる「こどもスタジオ」横のセントラルコートで「こどもミニコンサート 箏アンサンブル 斗為巾（といきん）」を開催した。コンサートの模様は後日、放送する予定。
- ⑪ 1/29（日）告示、2/5（日）投開票予定の舞鶴市長選挙について、市民の選挙、政治への関心・参加を促進し、民主的な地域社会の発展に寄与する為、選挙に関する広報、報道番組や特別番組などの企画・放送を行う予定。また 2/5 21:30～23:00 には投開票速報を放送する予定。

- (2) 番組審議：和田中学校チーム MGC 出演（FM まいづる制作協力）「五老ヶ岳スイーツ物語」（10 分番組：12/5～11 に 7 回放送）

※ 和田中学校 3 年のチーム MGC（4 人）が、総合的な学習の時間の一貫として五老ヶ岳のスイーツを作るというプロジェクトを立ち上げ、2022 年春頃から活動を始めた。五老ヶ岳のスイーツは、GORO SKY CAFE nanako スタッフと何度かミーティングを繰り返し、五老ヶ岳をイメージした五老ヶ岳限定スイーツ「ごろうがたけーき」（抹茶クリームケーキ）を考案した。カフェス

スタッフのアドバイスを受け、学校の調理室やカフェでの試作を繰り返し GORO SKY CAFE nanako での製造・販売が決定し、計 60 個の販売を終了した。販売にあたっては前日夕方にケーキを作り、当日は訪れた客に整理券配布、販売した客にはアンケートを配って意見等を募り取りまとめた。

## 5 議事の概要

- ① 上記 (1) 項の報告内容を審議委員に説明。
- ② 上記 (2) 項の審議番組に対する意見を審議委員各位から聴取。

## 6 審議内容

### 【審議番組に対する委員の主な意見】

- ① 中学生が活躍しているということ、ラジオを通じて知らせてもらったのがよい。自分達が発信出来る仕組みがあるのがよい。
- ② 司会役の女子はしゃべるのが楽しいようで明るく、語尾もはっきりしていてよい。聴いていて元気がでる。男子は少し原稿を棒読みの感じがした。BGM も効果がよく出ている。
- ③ 生徒同士が話をやりとりする形がよかった。
- ④ 生徒自らがケーキ販売を企画、実施したというのは優秀である。  
(参考：昨年春ぐらいに学校側から、このようなことをするのは可能か？との打診があった。)
- ⑤ 「舞鶴ふるるファーム」で以前、中学生が「舞鶴ドーナツ」を作ったことがある。このような事例があつて企画につながるのがよい。
- ⑥ カフェスタッフの目から見た「生徒達の頑張り」を番組内に入れるともっとよかった。
- ⑦ アンケートについては、先生がうまく黒子になっている部分があるが、それがよい。  
(参考：アンケート集計結果については、それを取り入れたこの番組の続編を企画中)
- ⑧ 子供たちがラジオに出演すると、親がラジオを聴くようになり、それがまた親仲間にも伝わり、聴取者層の拡大につながるので、いい企画である。
- ⑧ 別番組で「舞鶴小中学校校歌の時間」というのがあるが、これにも児童・生徒の声が出ているのがよい。こうした番組を通じて小中学生の頃から、ふるさとへの愛着を持たせるようにしないと、進学等で市外に出て行った子供たちは舞鶴に戻ってこなくなる。地方が疲弊するのは子供たちが外へ出ていってしまうのが一因である。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

当審議会が出た意見を局内会議で議論した。小中学生が出演する番組は以前から好評であり、上記のような意見を踏まえ、今後の番組編成に生かしていくこととした。

(令和 5 年 1 月 26 日)

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 令和 5 年 1 月 28 日 この審議会議事概要を演奏所事務所に備置き、閲覧できるようにした。
- ② 令和 5 年 1 月 28 日 この審議会議事概要をホームページに掲載した。

## 9 その他の参考事項

なし

以上